



スライム作りより～スライムの魅力～ part2



前回のクラス通信で、スライム遊びを楽しむ子どもの姿について紹介しました。スライム遊びも引き続きお気に入りの遊びの一つとなっています。スライムは以前、保育教諭が作っていましたが、子どもの目の前でスライムを作ってみようと思い、材料を準備し始めました。すると、“何かな？”と保育教諭の側に座り出す子がいます。ジッと無言で見つめる保育教諭の姿に興味津々の様子が伺えました。



子どもの様子を見ていて、何かお手伝いしたいかもしれない、と思い「お水入れてみる？」と声をかけてみました。すると目を丸くしながら喜んでボウルの中に水を注ぎます。友だちの気配に気が付いた子が自分の引き出しからスモックを着用し始めました。（きっと、自分も何かしたい！と思ってスモックを着用したのだと思います）ボウルの中に“何が入っているのだろうか？”と覗き込む子もいます。



かき混ぜていくうちに、スプーンを引き上げ出します。伸びてくる物体に気が付いて、驚いたり歓声を発したり…!!中には手を突っ込んで感触を確かめている様子の子もいましたよ。



スプーンを片手に、「次、OO！」と自分がかき混ぜた気持ちをしっかりアピールしながら、集中しています！

スライム完成! 子どもと一緒に作ったスライムは、作る過程の中で発見や気づきがたくさんあったと思います。心豊かな体験となったかな♡

小さなお母さんがいっぱい!!

きりん組ままごとコーナー。今日も朝から賑わっています。子ども達の会話に耳を傾けてみると・・・「はっぴばーすでーとーうーゆーはっぴばーすでーでいあーOOちゃん～、おめでとう!さ、次はOOちゃんのはっぴばーすでーしようね」とお誕生日会ごっこが始まっていました。パスタ（毛糸の）やお菓子も食べて楽しい誕生日会が開催されているようです。



Hちゃんは、お人形を優しく抱っこしてすっかりママの眼差しです。「ほら、ミルクよ～」とミルクを飲ませてあげたりお食事もお食べさせてあげたりしています。おうちでも弟くんのお世話をママがしているのを見て、お手伝いすることもあるのでしょう、慣れた手つきでお世話する姿にほっこりしました♡

Mちゃんはお人形を抱っこしてご飯を食べさせてそのあとはゆらゆら。写真では動きが伝わりませんが、「ねんねよ」と言いながら優しくゆらゆらしていました。



Rちゃんは、お人形さんを椅子に座らせてお膝に毛布を掛けてあげて、何が始まるのかな～と見ていたら・・・「絵本読んであげるね」と、お人形さんに絵本の読み聞かせをしていました。「ほら、ちゃんと見える～?」とお人形さんの目線の高さに本を立てて読んであげていて、保育教諭よりも上手な?! 読み聞かせテクニックに驚きました。



どこで覚えたのだろう?と思うほど本当の赤ちゃんに接するように優しくお世話している姿にほっこりするやらびっくりするやら・・・。優しい気持ちが育っていることにも嬉しく思いました。日常が豊かであればこそ、生活や遊びの様々な体験から、イメージや感性が豊かに育んでいくのでしょうね。



8月よりきりん組に新しい友だちが仲間入りしました。こうろうくんです。宜しく願います♡

